

埼玉利根医療圏で働く医療関係者様へ

第7回埼玉利根医療圏糖尿病ネットワーク研究会開催にあたり

当研究会が発足して、二年という年月が経過しようとしております。一年目はヒューマンネットワークの構築をテーマに挙げ、一人でも多くの方々にご参加いただくことを留意致しました。実際、多くの方々に施設を超えた顔と顔とが見える関係を作って頂くことができました。

二年目は具体的な成果を出す為の体制作りを目標に活動して参りました。特に今年度は、地域医療をテーマとしたシンポジウムを3回連続で行い、医療者や施設など医療資源の不足、高齢化による慢性疾患の急増、それに伴う国保など医療財政の逼迫や地域医療の実態などが可視化され、私たちの地域が抱える問題の全貌が明らかになって参りました。さらに、糖尿病を治療していく上で、地域で活躍する『仲間たち』との他職種連携の大切さを学びました。

いよいよ地域医療を再生、そして発展させていく為の体制作りの準備が整った私たちではありますが、あと二つの重要な視点が残されてることに気づきました。それは、在宅医療・地域包括ケアという視点と、心筋梗塞をはじめとする動脈硬化性疾患の視点であります。

今回の研究会では、東京都浅草地域で訪問服薬指導の取り組みを行っていらっしゃる宮原先生と、急性心筋梗塞の発症リスクを評価し、未然に防ぐ集団疾病管理の取り組みをされている東埼玉総合病院循環器科の福田先生をお招きし、具体的な成功モデルをご紹介していただける予定です。

また、地域医療シンポジウムでは、来春の稼働開始へ向けて準備が着々と進んでいる医療 IT ネットワーク“とねっと（仮称）”の新着状況をご紹介し、糖尿病の地域医療にどのように活用していくかについて、みなさんと考えていきたいと思っております。

これまで以上に魅力的なプログラムを用意することができ、私たちも大変楽しみにしております。本研究会が皆様にとって、「出会いと学びの場」となれることを切に願っております。ご多用中とは存じますが、多くの方々にご参加を頂けるよう、心よりお待ちしております。

「地域をひとつの病院に」

平成 23 年 10 月 吉日

医療法人 新井病院 院長 関谷 栄

医療法人 三和会 東鷲宮病院 院長 青木 博美

社会医療法人 JMA 東埼玉総合病院 院長 高井 孝二

新井医院 新井克典

社会医療法人 JMA 東埼玉総合病院 地域糖尿病センター 中野 智紀